

R-18

成人向け
おねショタ本

新田美波の

にったみなみのしよたぐい

ショタ喰い



あらすじ

連ドラでメインヒロインである女子高生役に抜擢された新田美波。その弟役には、同じ事務所に所属する翔くんが選ばれる。

地方ロケが順調に進んでいたある日、フロデューサーは急用で数日間ロケに立ち会えなくなってしまう。

翔くんの家族も立ち会えず、翔くんをひとりでホテルに泊めるわけにもいかず、フロデューサーは美波に翔くんの面倒を見るように依頼する。

美波をそれを快諾し、その日のロケが全て終わったあと…

翔くん、一緒に
お風呂入ろっか

ピル!

「今日も暑くて撮影でいっぱい汗かいたでしょ？
きれいに洗ってあげるからいらっしやい」
(フロデューサーさんに任されたんだからしっぴかり面倒見なきゃ...)

ほら恥すかしがらないで
こっちにいらっしやい

ほ、僕ひとりで
入れますから...

女の人の裸
初めて見た...

44+

あっ!

あ

「あの...その、僕...」
もじもじ...

「どうかしたの? ...あらっ?」

—翔くんのおちんちんが、
苦しそうに勃起していたんです。

「あらあら…こんなにおちんちん大きくしちゃったのね」

「美波さんの裸きれいで…見てたらなんかおちんちんが熱くなってきて、その…」

体はまだ子どもなのにここはもう大人なのね

こんな風にしちゃった責任とって翔くんのをこれ鏡めてあげるね

わわわわ
わわわわ

んんん

さわさわ…

「あっ！」

(ちよっと触れただけなのにすごく敏感…それに翔くんの包茎チンポ熱くてすごく硬い…)

さわさわ…

「あっ、ああ……」

「次は手でおちんちんをシコシコしてあげるね」

ぎゅっ—

「うっ…み、美波さん……」
(美波さんの手柔らかい……)

シコシコ…

「んっ…あっあっ……」

シコシコシコシコ…

「んっ、あっ、ああ…
なんかヘンになっちゃう……」

「みみ……♡」

「手でシコシコされて気持ちいい〜」

「うっ…あっ、あっ…」

(美波さんの手で擦られると
すごく気持ちいい…)

(翔くんの顔すごく感じてる…)

(後ろからシコシコしていると自分にチンポ
生えてるみたいでドキドキしちゃっ♡)

「ふっ…んんっ…ああっ…」

「翔くん女の子みたいに声出しちゃってかわいい」

いっぱい射精できたね♡

シュツ、シュツ…

「あ…ああっ…美波さんっ…なんかキちゃっ〜」

「我慢しないでいいのよ」

「手止めて！ お、おしっこ出ちゃっ〜」

「いらわよ！ おしっこ出しちゃいなさ〜」

「うっ…あっ、あっ、ああああっ…」

んげんっ… んげんっ…

「あう…はあ…はあ…」

(翔くんのイキ顔かわいい…
子ども相手に興奮してきちゃった…♡)

「ちゃんと射精できてえらいね」

「しゃせい...?」

「さっき出た白いおしっこを精液って言って
精液を出すことを射精って呼ぶの」

(美波さんの体やわらかくて、なんかいい匂いがする...)

「翔くんのおちんちんが大人になった証で——」

(あ...またおちんちんが大きく...)

つんつん...

またおちんちん
大きくなっちゃったね

ご、ごめんなさい...

「...ねえ翔くん、もう一回射精したい?」

「は、はいっ...また射精したいですっ」

—そう言うと翔くんは熱いチンポを
強く下腹部に押し付けてきました。
チンポで上から子宮を刺激されて、
翔くんもセックスしたくなっちゃいました♥

おしっこ

...次はセックスしよっか

セックス...?

とっても気持ちいいことよ♥

—完全にエッチなスイッチが
入っちゃいました♥

おしっこ

「この穴がマンコで、ここに翔くんのおちんちんを入れるの」

「ここにおちんちん入れるの?」

「そっよ。手で射精するよりずっと気持ちいいの」

もっと近くで見たいのよ

これが女の人のあそこ...
女の人ってこうなってるんだ

くぱあ

きゅん

「あそこからなんか出てきたよ」
「このお汁は翔くんのおちんちんを早く入れて欲しいっていう合図なの」

(食い入るように見つめてかわいい...
それに翔くんのチンポさらに大きくなってっ)

...きゅん

くぱあ

ヌッ

「もう欲しくて我慢できない
翔くんのおちんちんをマンコに入れるね」

「美波さん...あっ♡」

...ヌッ

(翔くんの童貞チンポもらっちゃった♡)
「翔くんの好きなように動いてみて」

(おっぱい...おっぱい...)

タスタス...もみもみ...チュパッ、チュパッ

「んんっ」

(初セックスなのに胸をイジりながら腰振ってる...
この子セックスの才能あるかも♡)

「美波さん、美波さんっ」

...パンパン

(乱暴に腰を振るだけのセックスなのに興奮しちゃっ♡)
「んっ...あっ♡ あっ♡」

110
110
110



パンツ、パンツ…

「あっ…あっ…♥」

「んっ…んん♥」

「美波さんまたきちやう…精液きちやうよっ」

「我慢しないで精液出して」

パンツ、パンツ…

「ああっ…出るっ！ 精液出ちやうっ！」

「んっ♥ 思いっきりピュっって出してえ♥」

うっ…

カビュッ…とぐっ…とぐっ

「あっ…ああ…♥」

「熱い精液が膣にいっぱい入ってきてる…♥」

「はあ…はあ…」

「すごい…セックスって気持ちいいっ」

（童貞おちんちんに中出しされちゃった♥）

（もっとしたい…もっとセックスして射精したい…！）

「すごい…2回目出したのにまた大きくなってる…」

「美波さんっ、あの…っ」

翔くんが満足するまで
何度でも出していいよ♥

—このあと4回も中出しされちゃいました♥

カビュッ♥

カビュッ!

— 競泳水着の撮影シーンの休憩中、赤面した翔くんが何度もこっちを見てくることに気づきました。それに股間が今日も大きく張ってることにも…。それを見て昨日の翔くんのチンポを思い出して興奮してきちゃいました♥

「…翔くん撮影中に何度もこっちを見てたでしょ」

「う、うめんなさ。昨日のこと思い出して、その…」

「おちんちん大きくしちやっただんだ？」

「はっ」

それじゃ今日も
鏡めてあげる♥

シユツシユツシユツ

「…おちんちんをさすな」

「我慢しないで出たのよ♥」

昨日あれだけ出したのに
ザーメンすごく濃い♥

「うっ…出ちゃうー」

ドビュツ、ドビュツ…

「はあ…はあ…」

（すごい。射精したのに硬いまま…）

「美波さん…その…」

「なあに翔くん」

「美波さんとセックスしたいっ」

「おちんちんをさすな♥」

「美波さん挿れます……!」

又スツ—

(翔くんの包茎チンポ入ってきたあ♥)

ジュスツ、ジュスツ

「あぁっ♥」



すごい…セックスが
うまくなってる♥

「美波さんのマン」すごく柔らかい…」

ズチュ、ズチュ、ズチュツ

「あっ…ん♥ あっあっ♥ んはあ♥」

「あっ…あっ…うう」

(もう出ちやいそう…)

パンツ、パンツ、パンツ

(すっ…翔くん激しい…♥)



包茎子どもチンポで
すごく感じちゃってる♥

それからどうもの…

「美波さんっ…精液出ちやいそう……!」

「いいよ、いっぱい出して♥」

「あっ、あっ…あぁっ!」

どびゅっ…どびゆるるるっ

「あんっ♥ 子ども精液いっぱい出てる♥」

「はあ…はあ…」

「んっ…はあ…はあ…♥」

ピクン、ピクン…



—翔くんが勃起すると撮影の合間やホテルで…

おっばい
気持ちいい？

スベスベで柔らかくて
気持ちいいです…

ピュッピュッて
たくさん出していいよ

んうっ

いっぱい出たね
次はマンコの中に
たくさん頂戴♥

美波さんの匂い
ハア…ハア…

—ドラマの撮影から戻ってくると、それからはレッスンの後に
アイドルのみんなに隠れて汗だくの状態でセックスしたり…
(翔くんは汗の匂いに興奮してました)

もう…
出そうです

いいよ♥
中に出して♥

いんちんが
おちんちん

—事務所の衣裳部屋にある衣装を使って
コスプレセックスしたりしました。

—毎日のようにおちんちんをハメていると
翔くんのセックスがすごく上達してきて
軽くイクようになってしまいました♥

最初は軽いお遊びみたいな感じだったのが
今では翔くんとセックスが楽しみになってきました。
何度射精しても萎えないおちんちんは最高です♥

—そしてだんだんと普通のセックスだけじゃなくて、
ちよっとアスノーマルなことにも挑戦したくなって…

—ついにアナルセックスをお願いしちゃいました。最初は翔くんも若干惑っていましたが、チンポを挿れるとすぐに激しく腰を振り始めました。前から私のアナルを弄っていたから翔くんがお尻に興味があったのはわかってたんです。マンコじゃなくてお尻に挿れられている状況に、すごく興奮してすぐに感じ始めちゃいました♥

(お尻の穴…マンコよりも熱い…)

ヌスツ、ヌスツ—

「翔くんもっと突いてえ♥」

「はあ…はあ…」

「あっ、あっ♥ ああん…んうっ♥」

100%

マンコが挿れてほしくて
ヒクヒクって疼いてる…

「ふっ、んう…はあ…」

ジュスツ、ジュスツ、ジュチュツ—

(翔くんの先走り汁ですごく卑猥な音してる…♥)

「はああ♥ すごくイイ…♥」

「あっ、あっ…で、出ますっ」

「翔くんのザーメンお腹の中に頂戴っ♥」

どぴゅっ、どぴゅぴゅっ—

「はっ、はっ…ハア…♥」

(アナルセックス…キモチいい♥)

—そのとき、今までにないくらいマンコがびしょびしょに濡れていることに気づきました。マンコを撫でるとまるで電流が流れるように快感が体を駆け抜けました。アナルにハメられて早くマンコに挿れてほしくて、すごく敏感になっでいたんです。

(早く…はやくチンポをマンコにハメてほしいっ♥)

—この状態でチンポを挿れられることを考えたら、早く欲しくてたまらなくなってきました…

ひゅっ

ひゅっ

130%...

「早く翔くんのチンポほしいの。そのチンポで美波のマンコをジュボジュボ突いてくださいっ♡」

「早く挿れてほしくて、気付いたら年下の子におねだりしてました。」

くちゅあひぶ...

「んっ、はあ...っ」

くちゅっ、くちゅあひっ、くちゅあひっ...

(愛液ですごく卑猥な水音になってる♡)

すちゅっ、すちゅっ、すちゅっ...

(美波さんのマンコすていいっ...絡みついてきて搾り取られちゃいそう)

「あっ♡ あっ♡ これすていい♡ んっ、んうっ♡ はああ...ん♡」

(すごい...気持ちいいところを的確にチンポで突いてきてる...♡)

あっ♡

ああん♡

んはあ♡

もっと♡

んあ...突いてえ♡

突かれる度にアナルも刺激されておかしくなりそう♡

(子どもチンポでイカされちゃうっ♡)

「美波さん...僕、もう...っ」

「いいよっ♡ 一緒にいっ♡」

あひぶっ、あひぶあひぶ...

「あっ、あああ...」

「イクイクうっ♡ んうっ♡ んあああ♡ はあああ...♡」
(こんなに感じちゃったの初めて...)

ドキ

ドキ

子どもチンポで盛大にイカされちゃった♡

「もちろんこのあと翔くんにいっぱいチンポをハメてもらって、何度もいろんなところに射精されて、たくさんイッちゃいました♡
最初は遊びのつもりだったのに、今では翔くんの包茎チンポの虜です♡」

R-18

成人向け
おねショタ本

新田美波の

にったみなみのしよたぐい

ショタ喰い

























R-18

成人向け
おねショタ本

新田美波の

にったみなみのしよたぐい

ショタ喰い